



## 授業づくり

## 新教材[WeCan!]で授業づくり



これまでミニレターの授業づくりコーナーでは、学ぶ意欲を高めるための授業実践を紹介してきました。今年度はこの視点を踏まえたうえで、新学習指導要領を意識した授業づくりについて3号にわたって紹介します。

昨年度まで、本市の小学校第5、6学年の英語科では、ひろしま型カリキュラム小学校英語科の教材を活用して「聞くこと」「話すこと」を中心に授業を行ってきました。本年度からの2年間は、新学習指導要領に対応するため、これまでの授業に加えて新教材を活用し「読むこと」「書くこと」の指導も行います。第5、6学年で使用する新教材は[We Can !]で、**中学校への接続を重視し、より豊かなコミュニケーションを図ることを目指した内容**となっています。

本号では、新教材[We Can !]を用いた授業から、**子供達の意欲的な自己表現を引き出すための工夫**を取り入れた実践を紹介します。

- 教材・単元名 We Can ! ② Unit.4 [I like my town.] (小学校第6学年)
- 単元の目標
  - ・ 地域にある施設のよさについて話したり聞いたりしようとする
  - ・ 地域にある施設のよさを紹介する英文を、例を参考にして書こうとする
  - ・ 他者に配慮しながら、地域のよさについて伝え合おうとする



### 意欲的な自己表現を引き出すための工夫

	視点	内容	イメージ
事前準備	学校行事との関連付け	学校全体の行事「学習発表会」と本単元の内容を関連付けることにより、子供達の表現活動に対する意欲を高める。	<p>「学習発表会」に向けて学んできたことが、英語科でも出てくるね!</p>
本時の展開	学習課題の設定	地域の外国人に依頼し、ビデオレターを作成する。本人の出身地について紹介してもらった後、「あなたの住む町についても教えてほしい」という児童へのメッセージを加えてもらう。	<p>外国の方に、私達の町のことを教えてあげたい!</p> <p>地域のことが知りたいな!</p>
	慣れ親しむ活動	施設を表す英単語に慣れるための反復練習では、楽しく取り組めるように条件を付ける。 <b>条件</b> 「行きたい!」と思う施設が出てきたら、気持ちを込めて大きな声で発音しよう!	<p>あっ! Schoolだ! 行きたい場所!</p> <p>(大声で) "school!"</p>
	コミュニケーション活動	<p>役割分担による目的・場面・状況の明確化</p> <p>ペア活動の際、児童の役割を「地域の外国人」と「町に住んでいる私」に分けることで、「紹介したい」「知りたい」という目的や状況等を明確にしてやりとりする。</p> <p>伝えたい内容の見える化</p> <p>児童が地域の外国人に紹介したい施設(まんが図書館やマツダスタジアム等)の拡大写真を提示して表現内容をより伝わりやすくする。</p>	<p>どこに住んでいるの?</p> <p>段原ですよ! こんな場所があるよ!</p> <p>私達の町にはこんな魅力的な場所があるよ!</p> <p>Stadium マツダスタジアム Manga library まんが図書館 ・野球が見られるカーブが大好き ・たっさんのまんがを読める</p>

実践者の声

【小畑 あゆみ 教諭】

○ 聞く活動を大切にし、聞き慣れた言葉と新たな言葉が児童の耳に螺旋階段のように積み上げられ、想像力を育むことを意識して授業づくりをしています。日々の英語科の授業の中で、5年生からの2年間で児童に言葉の力が蓄積されてきていることを実感しています。

【岸本 美恵 英語指導アシスタント】

○ 子供達が、「もっと知りたい」と思える授業になればいいなと考えるようにしています。少しずつ、繰り返し、積み重ねていくことにより、子供達は驚くような成長を見せてくれます。その喜びをこれからも感じていたいと思っています。